



円形周溝遺構と出土した墨書き土器

益城の文化財

大辻遺跡

—馬水北—

平成22・23年度の町道グランメツセ木山線改良工事に伴い、埋蔵文化財発掘調査が行われた「大辻遺跡」は、馬水の大辻地内に所在します。

今回の調査で、縄文時代後期から晩期の遺構や平安時代の建物跡が検出されています。なかでも平安時代は、当時の役人層に関連する遺物が多数出土したことから、この場所に政治機関との結びつきが強い施設が存在していたことが推定されています。

主な遺構として円形周溝遺構が8基、竪穴式住居跡13軒、掘立柱建物跡が11軒検出されています。

また、縄文時代以前の遺物である黒曜石の細石刃が出土しています。縄文時代後期～晩期の遺物は、「古閑式土器」などの土器をはじめ、石斧、石鎌、石匙などの石器類も出土しています。

平安時代の遺物は、「土師器・須恵器」の椀、壺、蓋、甕、壺が出土しています。特筆すべきは、墨書き土器が五十点も出土していることです。文字が判読できるものでは、「井・員?」、「譯」と釈読できるものがあります。そのほか「福」、「公」、「豊」、「原」と釈読可能な文字も散見されると調査報告書にはあります。

鉄製品・銅製品では、刀子(小刀)、鍬・鋤先の刃部片、馬具、鉄製錠前の一品などが出土しています。

この遺跡の周辺には、古閑北遺跡、古閑遺跡、二の峠遺跡、駿河原遺跡、馬水狐塚古墳などが分布しています。

参考文献

益城町文化財調査報告第二十二集
『大辻遺跡』益城町教育委員会編
益城町文化財保護委員会

早川宏次 選

俳句

狂句

田上富岳 選

行楽も縁無き父母は野良に暮れ
茜雲粉がらやきの煙立つ
「ご自由に」の立看ほしい山の柿
七五三スター気取りの陣羽織
草千里青空映す薄水
夫逝きて庭一面に彼岸花
落武者の声は聞けねどモズの声

木山 増岡 伸禧
惣領 新居 露子
下陳 城 陶子
惣領 阪口由美子
広崎 松原まゆみ
惣領 小森英美子
惣領 阪口 基明

狂句次号の課題 「思い当たり」「癖になる」
※1月号の投稿締切日に「ご注意ください」。

投稿は役場広報係まで。漢字は読み方を記入。
投稿締切日は12月12日です(当日必着)。
※数種に投稿される場合は別にしてお送りください。